

特別寄稿

『こころのプロジェクト』に参加して

熊倉 美咲



熊倉 美咲 (くまくら みさき)
日本ボート協会指導者育成スタッフ。
戸田中央総合病院RC所属。
浦和第一女子高校、早稲田大OG。
女子1×で2002年から全日本大学選手権
3連覇、2007年から全日本選手権2連覇、
2011年全日本軽量級選手権で優勝。
女子2×で2008年北京五輪軽量級9位(日
本最高位)。
埼玉県出身。

◆複数団体による『教室プロジェクト』

日本サッカー協会(JFA)の主催する「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』」および、日本体育協会・日本オリンピック委員会(JOC)・JFA・日本トップリーグ連携機構の4団体が主催する「スポーツこころのプロジェクト『笑顔の教室』」。縁あって、私はこの二つのプロジェクトに2010(平成22)年から参画し、そこで『夢先生』を務めています。

◆夢を持ち仲間の大切さを伝える『夢先生』

『夢の教室』とは、「Jリーグ」や「なでしこリ

熊倉さんが参加された教室一覧

日時	都道府県	小学校	教室
2010/2/23	埼玉県	さいたま市立大戸小	夢
2010/12/3	山形県	山形市立第三小	夢
2011/10/17	青森県	三戸郡階上町立小舟渡小	笑顔
2011/12/16	茨城県	神栖市立波崎東小	笑顔
2012/2/6	岩手県	宮古市立茂市・墓目・刈屋・和井内小	笑顔
2012/7/2	宮城県	利府町立青山小	笑顔
2012/9/11	福島県	田村市立広瀬小	笑顔
2012/11/15	福井県	越前市立武生東小	夢



ーグ」のサッカー選手をはじめとするさまざまな競技の現役アスリートや、OB・OGが各地の小学校へ出向き、講義と実技を通じて夢を持つことの大切さと、仲間と協力することの大切さを子どもたちに伝えるプロジェクト活動です。元々はJFAが2007(平成19)年から始めたものですが、2011(平成21)年の3.11東日本大震災をきっかけに被災したすべての子どもたちの「こころの回復」を応援しようと、JFAに先述の3団体が加わって『笑顔の教室』と題した日本スポーツ界一丸の活動になりました。

それらの教壇に立つアスリートやOB・OGを『夢先生』と呼んでいます。

◆勝利の達成感とチームワークを味わう場

私は北京五輪ボート競技の日本代表経験者として、今までに『夢の教室』で3回と『笑顔の教室』で5回、『夢先生』として活動しました。

授業は「遊びの時間」前半35分と「対話の時間」後半55分で構成されています。「遊びの時間」は、JFAの方がアシスタントとして1人ついて授業をリードしていただき、楽しいゲームをし



ながら、勝利の達成感や仲間とチームワークの重要性を子どもたちに味わってもらえるようにしています。子どもたちは、『夢先生』との初めての出会いに緊張していますが、実は私も緊張しているので、大きな声を出して身体を動かすこの時間は、お互いに打ち解けるチャンスでもあります。

◆私のメッセージは「信じれば夢はかなう」

「対話の時間」は、『夢先生』自身の体験談を熱く語る機会、子どもたちに困難を乗り越えるための力や未来への可能性を感じ取ってもらうための時間です。

私は五輪出場を果たすまでに体重制限での挫折や、さまざまな重圧による苦しみを味わいました。また五輪出場後はスランプで身体が思うように動かない日々が続き、練習では毎日のように悔し涙を流していました。そうした逃げ出したい気持ちでいっぱいになるたびに思い出されてきたのが、期待してくださる方々の声援でした。周囲の人たちも支えてくださり、「私は一人ではない」、



「みんなの気持ちに応えたい」、その一心で最後まで強い気持ちで耐え抜いて五輪の場に臨み、また五輪出場後の全日本軽量級選手権でもう一度表彰台に立てました。

「仲間と助け合って頑張り続け、あきらめずに信じていれば、必ずいつか夢がかなう時が来る。それは何にも代えがたい大きな喜び」。私がボートで学んだことが、明日を生きる子どもたちの希望の種になれば、こんなにうれしいことはありません。

◆強く、しなやかに、笑顔で生きて

五輪の参加メダルや全日本の金メダルを子どもたちに見せ、興奮してあふれんばかりの笑顔に囲まれるととても嬉しいですし、「大工さんになって震災で壊れた家を建て直したい」という夢を持つ真剣な瞳の子にも出会えました。今はまだ暗闇の中かもしれませんが、どんな逆境も乗り越える、希望に満ちた未来への光は確かにありました。

このような素晴らしいプロジェクトに関われていることに感謝するとともに、これまでボートを通じて得た経験が多くの子どもたちの人生にとって何らかの力になれるよう、これからも頑張っ活動していきたいと思ひます。